

平成30年度第2回学校関係者評価委員会まとめ

日時：平成31年2月26日（火）15:00～16:10
場所：本校多目的室



会次第

1. 開会
2. 出席者紹介
3. 学校長挨拶
4. 平成30年度教育活動の報告
5. 委員の方からのご意見
6. 閉会

出席者

出水小学校校長	内田 博之 先生	育友会会長	竹下 寿彦 様
出水中学校校長	竹下 恒範 先生	出水校区自治協議会会長	渡辺 幸夫 様
学校法人評議員	後藤 延博 様	出水校区防犯協会会長	松岡 三雄 様
玉泉会会長	上田 裕子 様	出水商栄会副会長	津留 清美 様

ご意見など

- ・「国府まなびや」生徒の発表は素晴らしかった。
- ・国府生は登下校とも礼儀正しい。
- ・出水小にも吹奏楽部が演奏にきてくれている。
- ・運動部や文化部が活躍し、リーダーになっているのが大事だ。
- ・進路も多種多様で、生徒の希望に合わせた指導がなされている。
- ・はがき通信で「受験生が1,000名を超えている」と「海上保安学校に合格した」ことを知った。
- ・国府高校は若い先生が育っている。学校の勢いがある。それが進路に現れている。
- ・出水中出身のハンマー投げの坂梨、ハンドボールの辻本がスポーツに打ち込んでいる。育ててもらっていると感じる。出水中に行き来いと声かけして欲しい。
- ・竜田に住んで、豊肥線を使う。国府の生徒の服装はきちんとしてきた。
- ・国府生とは限らないが、水前寺駅のホームなどで立ち食いや歩きながら飲食する生徒を見かける。
- ・「国府まなびや」生徒は素晴らしく、自分の会社に欲しいと思った。人材育成ができています。
- ・生徒達が希望するところに進学や就職ができています。
- ・1,100名の受験者があったとのことで、学校経営という上でもうまくいっている。
- ・学校全体の人材育成もできていないのではないか。
- ・「国府まなびや」生徒を見て、すぐ使える人材だと思った。育友会として「国府まなびや」をバックアップできないかと思った。
- ・行政が小中校の携帯電話持込を認めたが、携帯でのイジメなどが考えられ、学校がより一層難しくなるのではないかと思う。
- ・学校と保護者が一緒になり、携帯電話の使い方などの研修をできないものか。
- ・「国府まなびや」生徒の発表を見て、久しぶりにきれいな言葉を聞いたと思った。
- ・子供の見守り活動をしている。国府生はよく挨拶をするし、交通法規もよく守っている。
- ・パトロール中にもきちんと挨拶してくれた。
- ・国府高校前の横断歩道が薄くなっているため、中央署に連絡した。
- ・国府生にパトカーに乗って欲しいと警察から依頼があるかもしれない。
- ・ホームページに体験型授業が掲載されていた。
- ・昨年、私の所にも来てもらった。焼き菓子やマフィンを提案したが、他所と競合するとのことで、却下だった。今後のイベントで良いコミュニケーションを取りたい。
- ・福祉を考えると「めげそうな自分に勝てるたくましい魂」を育てて欲しい。

★学校関係の出席者

校長、副校長、教頭、参与、事務長、総務部主任、教務部主任
情報企画広報部主任、進路部主任、ビジネス科科长、国府まなびや役職8名